

政策会議付議事案書 (平成30年7月10日)

提案課名 学校教育課

報告者名 久保田 貴

<p>事案名</p>	<p>秦野市立中学校完全給食の取組方針について</p>	<p>資料 有</p>
<p>必要性</p>	<p>食育と子育て支援の観点から、育ち盛りの生徒の健全育成に資するため、主食、副食及び牛乳による「完全給食」を、中学校全校で早期に実現するものです。</p>	
<p>経過・検討結果</p>	<p>中学校完全給食については、庁内関係各課で構成する「庁内委員会」と、保護者の代表らで構成する「推進会議」において、県内先進事例の視察等を行いながら実施に向けた検討を進めています。</p> <p>こうした中、今年4月27日開催の「総合教育会議」において、市長から教育委員に対し、改めて「中学校完全給食の早期実現」への決意が示されました。</p> <p>これを受けて教育委員会は、基本方針についての協議を重ね、6月22日開催の定例教育委員会会議において、別紙「秦野市立中学校給食基本方針」を決定しました。</p>	
<p>決定等を要する事項</p>	<p>中学校完全給食を早期に実現するため、次の取組方針に従い、速やかに検討・準備作業を進めること。</p> <p>(取組方針)</p> <p>平成33年度(33年12月)に中学校全校で完全給食を開始する。</p>	
<p>今後の取扱い</p>	<p>(今後の取組計画)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成30年度             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 小中学校給食調理施設設備等調査の実施(7月～9月中旬)</li> <li>(2) 中学校完全給食総合支援業務(仮称)補正予算案の上程(第3回定例会)</li> <li>(3) 推進会議の意見取りまとめ(時期未定)</li> <li>(4) 意見聴取、パブコメの実施、基本計画(提供方式等)の策定 等</li> </ul> </li> <li>2 平成31年度             <ul style="list-style-type: none"> <li>実施設計の策定、施設整備の開始 等</li> </ul> </li> <li>3 平成32年度             <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備、システム導入等運営方法の検討 等</li> </ul> </li> <li>4 平成33年度             <ul style="list-style-type: none"> <li>システム導入等運営方法の決定、検討施設整備の完了、完全給食の開始(12月)</li> </ul> </li> </ol> <p>※ただし年度計画については、推進会議の検討状況等に応じて随時見直すもの。</p> <p>(参考)</p> <p>中学校完全給食の実施には、生徒・保護者・学校の理解と協力を得ることが何より重要なため、給食の効果や有用性を紹介する広報紙の発行、試食会、講演会、生徒・保護者等へのアンケートの実施等を継続的に行います。</p>	

# 秦野市立中学校給食基本方針

平成 30 年 6 月 22 日 秦野市教育委員会会議決定

本市は、昭和 36 年から小学校全校で主食、副食及び牛乳による「完全給食」を実施し、中学校では家庭からの持参弁当を基本とする「牛乳給食」を実施してきました。また平成 16 年には、弁当を用意できない時のために「業者弁当」を導入しました。

各家庭の弁当は、生徒一人ひとりの成長や健康状態に合わせて用意され、また食を通じた家庭内のコミュニケーションにもつながるなど、食育に大きな効果が認められます。しかし一方では、社会経済環境の変化等に伴い弁当の準備が困難な家庭が増える中、子育て支援の観点から、全国的に中学校で完全給食が実施されています。

こうした社会の変化と時代のニーズを踏まえ、食育と子育て支援の観点から、育ち盛りの生徒の健全育成に資する中学校給食を実現するため、次のとおり基本方針を定めるものです。

## 基本方針

- 1 保護者・学校及び行政が連携して、完全給食を早期に実現します。
- 2 安全・安心でおいしい、生徒が喜ぶ学校給食を提供します。
- 3 成長期にふさわしい、栄養バランスを考えた学校給食を提供します。
- 4 学校給食を通じた食育を推進します。
- 5 地産地消の視点を生かした学校給食を推進します。

以上の基本方針を柱として、秦野の特色を生かした「秦野版中学校完全給食（秦野スタイル）」に向けた取組みを進めます。